

五島市図書館友の会だより

第 25 号(2023.6 月)

ご挨拶

夕暮れ時の図書館（図書館ホームページより）



令和 5 年 4 月 1 日、待望の新図書館が開館いたしました。平成 3 年 1 月に旧福江市立図書館が開館し、五島市立図書館と名称を変えながら、たいへん喜ばしい 33 回めの春を迎えることができました。

平成 14 年 3 月、新図書館の建設計画が策定されながら見送られるなど幾度かの紆余曲折を経てついにこの時を迎えることができました。新図書館建設計画から様々な形で携わっていただきました関係者の皆様とともに喜びたいと思います。誠にありがとうございました。

建物もすばらしいものが出来上がりました。システム等も時代の最先端です。図書費はこれまでの 2 倍近い予算に増え、職員は開館に合わせて補充していただきました。これからは市民の皆様によく利用していただき、ご意見・ご要望をいただきながら、職員共々育てられ、成長していきたいと思ひます。

五島市新図書館整備基本計画には、基本理念「しまの暮らしをささえ、地域をつくる図書館」をふまえ、5 つの目指すべき将来像があり、その 2 番めに「子どもの未来を支える図書館」とあります。過疎化、少子高齢化など

根本的な解決は難しいですが、このような問題も含めて子どもたちの未来を支えていかなければならないと思います。 ”本を読んだ数で見える世界が変わる”とも言われます。図書館には本を読むきっかけ、本との出会いの場や、読みたい本を提供する使命があると思います。

旧図書館の頃から友の会の皆様を始め図書ボランティアのみなさまには、図書館運営に際しまして多大なご支援ご協力いただき、誠にありがとうございます。これからの図書館運営にあたりましても、職員だけでは限界があります。それぞれの立場で皆様の様々な見方、考え方、ご意見などをいただきながら、子どもたちが何度でも、毎日でも利用したくなるような、頼もしい図書館に成長していきたいと考えておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

五島市立図書館長 野口 良美

注 次ページの図書館説明図は図書館作成の
「パンフレット」より転載しました。

知識のクルージングを楽しむGOTO LIBRARY

「GOTO LIBRARY」では資料の種別に合わせて、海に浮かぶ五島の「しま」になぞらえた多様で特色のある空間を配置しています。五島の島々を巡るように、図書館の利用者ひとりひとりが自分の目的に応じた「知識のクルージング」を楽しむことができます。

ご利用案内

開館時間 午前10時から午後6時まで
休館日 毎週月曜日(月曜日が国民の祝日にあたるときはその翌日)
 5月3日～5月5日、12月29日～1月3日
 資料整理日(毎月月末、その日が月曜日にあたるときはその翌日)
 特別整理休館日(年に1回、14日以内) ※最新情報はホームページをご覧ください。
アクセス 五島市役所から徒歩4分 / 三尾野バス停留所から徒歩7分
 チョイソコ停留所に登録されています。
駐車場 自動車83台 / 自転車・バイク19台
インフォメーション ベビーカー、車いすは2台ずつあります。必要に応じてご利用いただけます。

幼児書のしま
絵本や育児・教育に関する本を置いています。親子で楽しめる空間です。

おはなしのしま
読書ボランティアと連携して、定期的におはなし会を開催しています。

ティーンズのしま
10代向けの本や進路・資格に関する本を置いています。

児童書のしま
子供向けの本があります。

一般書のしま

リラックスコーナー
外を眺めながらゆっくりと本を読むスペースです。

情報コーナー
お知らせの掲示や、自由にお持ちいただけるパンフレットなどがあります。

多目的室
講演会や研修会などのために施設を使用することができます。来事前にお問い合わせください。

郷土資料室
五島・長崎について調べた本をまとめています。

学習室
調べもの、自主学習などに活用できるスペースです。34席あります。

蘭子さんのおすすめ絵本

絵本は一生の友達です

その10

新図書館のオープンおめでとうございます。今回のおすすめ絵本のテーマは図書館です。

『としょかんライオン』 ミシェル・ヌードセン著 岩崎書店



あるひ図書館にやってきたライオン。すっかり図書館が大好きになって図書館の人気者にもなりました。ライオンはいろいろなお手伝いもします。館長のメリーウェザーさんのお手伝いをしていた時に館長さんが踏み台から落ちて倒れてしまいます。助けを呼ぼうとするけど、ライオンは言葉が話せず、図書館では吠えたりして、うるさくしてはいけません。でも、助けを呼ばなくては・・・さてライオンはどうしたのでしょうか。心温まる結末が待っています。

『としょかんねずみ』 ダニエル・カーク著 瑞雲舎

図書館に住んでいるネズミのサムは本を読むのが大好き。ある晩サムは自分でも本を書いて、図書館の本棚にそっと置いてみました。女の子がサムの書いた絵本に気が付きます。次の絵本もその次の絵本もサムの絵本はすっかり、みんなのお気に入りになります。サムを新人作家さんと思った図書館員はサムに会い



たいと手紙を書きます。でもサムは人間がねずみを怖がることを知っていました。そこで、サムは人間にあわないうままで書くという事は楽しいと伝える為にある仕掛けを考えつきました。小さな箱に仕掛けられたものは一体何でしょう？サムの素敵な仕掛けにみんなは大喜びします。この本を読んで、私は児童書の「学校ねずみのフローラ」を思い出しました。こちらもとても楽しい本です。

今回、図書館をテーマの絵本を紹介しましたが、改めて、新図書館が皆さんの心のより所となってほしいと思いました。

図書館友の会会員 武藤 蘭子

アートの広場 展示紹介

長崎県立南高・写真班の皆さん



令和5年5月～7月 写真は図書館ホームページより

新図書館でも「アートのひろば」は展示予定です。皆さんの出展をお待ちしています。

お知らせ

例会

- ・新聞切り抜き等の作業を行います
- ・とき：6月25日（日）午前10時
；7月30日（日）午前10時
- ・ところ：図書館ボランティア室

第28回読書会

- ・どなたでも参加できます
- ・とき：7月12日（水）午前10時
- ・ところ：図書館ボランティア室
- ・テーマ：今まで読んだ本で一番、感動した本について

第11回総会

去年の活動のまとめと今年度の計画について話し合います

- ；とき：7月22日（土）午後1時半～
- ；ところ：図書館 多目的室



編集後記

オープン以来、アツという間に3ヶ月が過ぎました。ある方に「図書館が建ったら活動はひと休み」

と言ったら即答で「図書館が建てからが始まりで重要」と言われました。素敵な建物・館内に広がる魅力的な本・増えた司書さんたち、そして市民の応援と、役立つ図書館継続のため、未来をつくる子どもたちのため、さて、もうひとふんばり、といきますか。

K/S